

## ツアーの訪問予定の園など

### マルティン・ルター・キング幼稚園

プロテスタント教会が運営するマルティン・ルター・キング幼稚園は、「オープンであること」をモットーとした幼児教育に取り組んでいます。子どもたちにも、広い視野をもって物事を受け入れる、前向きな考え方が身に付くよう、遊びのなかでたくさんの方に会える工夫をしています。身近な場所で安心して自然体験ができる環境づくりは、園の幼児教育の重点ともなっている、環境教育・自然教育の推進や、子どもたちが毎日を快適に過ごせる環境の整備、創造力・発想力の育成、運動能力・社会性の向上、保護者との連携の推進などにも非常に効果的です。こうしたことから、保護者たちより厚い信頼や支持を得ることができ、入園希望者リストは毎年一杯です。

### 自然豊かな遊び場『ロクシュピールガルテン』

マルティン・ルター・キング幼稚園に隣接しているこの遊び場は、以前は平らな芝生が広がる、遊びの要素に乏しい場所でした。そこで、体を動かしながら様々な発見ができる場所にしようと、自然体験ができる遊び場づくりの専門家に設計を依頼し、改造することになりました。『宙を飛ぶ機関車』というテーマにふさわしく、最高2.5mに達する蛇行線路のような遊具がこの遊び場の主役です。地元産木材を使ったこの遊具には、緩傾斜やロープになっているところなどがあります。意図的に不安定な部分を設けることで、遊びながら様々な運動能力が身につくようになっています。施工作業には、保護者や近隣の人々が快く協力してくれました。こうした連携は、コミュニティの絆を深めることにもつながりました。



## ベルグ通り自然保護センター

このセンターは、子どもたちに環境教育と自然体験の場を提供する施設で、ベンスハイム市役所などの援助により、砂利の採掘場跡地を利用して 2004 年に設置されました。近くには、コウノトリやシギなどが飛来する野鳥保護地域があります。センターの敷地内にも、水辺、森、ヒースが咲く野原などが広がり、野鳥やコウモリ、カエルなどの両生類、チョウやミツバチのほか希少な昆虫も多く暮らしています。木質バイオマスヒーターや太陽光発電を設置したセンターの建物は、環境に優しい技術を駆使して、地元産やリサイクル材を用いて建てられました。在来植物による屋上緑化は小さな生きもののビオトープとなっています。こうした施設環境や、充実した展示と様々なプログラムを提供するセンターには、多くの幼稚園や保育所の子どもたちが訪れ、自然体験の場として利用しています。



## 公立ヴァートベルグ通り 32 幼稚園保育所

ハイルブロン市では、2019 年の春から秋にかけて連邦庭園博覧会が開かれました。1951 年に始まったこの催しは、様々な庭づくりや園芸のアイデアを紹介するもので、2 年に 1 度ドイツ国内いずれかの都市で行われています。ハイルブロンで開催されたこの博覧会に際しては、子ども、保護者、園が協力して園庭や校庭の計画図を作成しその内容を競う『自然豊かな園庭・校庭プランづくりコンクール』が行われました。市が運営するこの園もそれに応募し、最優秀 3 施設の一つに選ばれました。園では現在、子どもと保護者の協力を得て、賞金や副賞の資材を活用して、受賞プランに沿った園庭づくりが進められています。8 月の訪問時にはまだ完成に至っていませんが、園庭ビオトープづくりの途中経過を見る興味深い機会になるでしょう。





## ヴァルドルフ幼稚園保育所ゲルソハウゼン

シュタイナー教育を実践しているこの園は、保護者のイニシアティブで 1990 年代に幼稚園として設立され、2009 年に保育所を併設しました。2015 年、1.6ha の園庭を自然体験の場所につくり変えることにしました。子どもたちが箱庭で表現した理想の園庭を基に自然景観設計士が計画図を起こし、保護者が庭づくりの作業を行いました。園庭は、在来の植物が咲き、木々が茂り、水辺や丘、泥遊びの場所があり、野鳥や虫など、多くの生きものが暮らすオアシスのような場所になりました。子どもたちは、こうした環境のなかで、日々安心して自然とふれあっています。この園庭は、連邦政府が推進している、生物多様性を豊かにするプロジェクト『幼稚園保育所の子どものための庭、一緒に多様性を発見しよう』の優良実践例として高く評価されているだけでなく、保護者にも大人気となっています。



## ランゲンゼルボルト・エバンゲリッシュ幼稚園保育所

100 年以上の歴史をもつ教会が運営するこの園では、伝統と革新を重んじたプロテスタントの教えが教育の基礎となっています。2009 年、この園では、五感を使った自然体験と環境保護を目的に、園庭ビオトープづくりを行いました。自然豊かな園庭の構想は、子どもと保護者も加わって練り上げました。大きな榎の木が印象的な約 1ha の敷地は、様々な在来の植物が茂り、昆虫などの野生の生きものが暮らすビオトープになりました。インクルーシブ保育を実践するこの園にふさわしく、生きものたちも皆仲よしの友だちです。石積み、登り降りできる丘、トンネルもある変化に富んだ園庭は、子どもたちの様々な興味を引き出し、驚きや喜びを生み出します。四季折々の自然を感じながら、多様な生きものがあることのすばらしさ、穏やかな気候の大切さなど、子どもたちの様々な気づきを促してくれる園庭は、保護者にも大好評です。



## 森の幼稚園グラスヒュッテン

ドレックスパツェン協会が運営するこの森の幼稚園は、自然豊かな森のなかで、新鮮な空気を吸って自由かつ安全に遊びながら、様々な体験を通して心身の健全な発達を促すことを目的に 2002 年に設立されました。現在約 20 人の子どもたちが通っています。子どもたちは森のなかでの五感を使った遊びを通して、野生の生きものたちの営みやつながり、四季の変化、生や死、物質の循環などを実体験から学んでいます。森のなかには、音楽やお絵かき、算数など、子どもたちの好奇心をくすぐり、創作意欲や想像力をかきたてる材料がたくさんあります。また、起伏のある森の中で活発に動き回ることで、運動能力の発達も促されます。四季折々の森の自然と向き合いながら、日々多くを学ぶ子どもたちの様子に保護者も大変満足しています。

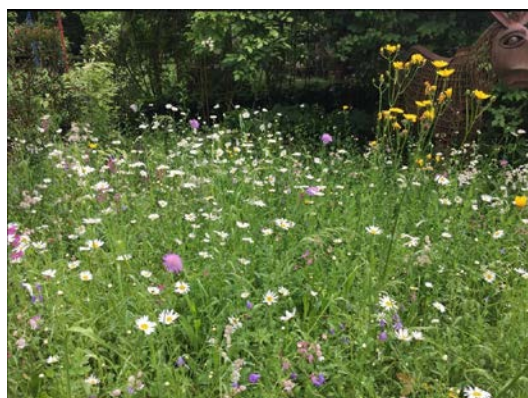


## ヘッセン自然保護アカデミー

ヘッセン自然保護アカデミーは、ヘッセン州政府環境・エネルギー・農業・消費者保護省とヘッセン自然保護センターが共同運営している施設です。1976年に、当時の環境大臣が、果樹園だった場所を自然体験のできる場所にしようと提案したことにより設置されました。市民に対する自然保護関連のトレーニングと生涯教育を目的とした敷地内には、自然体験用の 1.5ha の自然保護ステーションがあり、野鳥や昆虫などのビオトープがあるほか、湿地、自然体験の道、ヒースの咲く草原、散財果樹園、菜園もあります。また、ハチの営巣が観察できるミツバチステーション、鳥の巣箱、草で作った小屋などの趣向を凝らした展示を通じて、ビオトープなどについて楽しく学ぶことができます。アカデミーでは、幅広い層を対象とした環境や自然教育に関する研修やイベントを実施しており、幼稚園・保育所や学校ほか、多くの市民が利用しています。







※写真はイメージです。  
※視察先は諸事情により変更になる場合がございます。予めご了承ください。



171-0021 東京都豊島区西池袋 2-30-20 音羽ビル  
TEL 03-5951-0244 FAX 03-5951-2974 <http://www.ecosys.or.jp/>